



若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

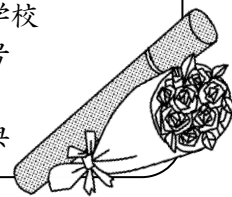
発行 令和3年3月26日

横浜市立若葉台中学校

学校だより 最終号

校長 岩永 徹

副校長 石平 正典



令和2年度 ありがとうございました

校長 岩永 徹

3月11日に挙行了した第14回卒業証書授与式での私の式辞の一部を紹介させていただきます。

「皆さんは、1つの目標に向かって団結した時のパワーがとてすごく、先生が目指している『生徒が主役の学校』という姿をしっかりと見せてくれた、素晴らしい学年でした。これからは『自分が主役の人生』を送る君たちに『自分にやさしく、人にもやさしく』という言葉を送ります。完璧な人はいない。誰でも時には間違ってしまう。だから、もし自分が間違ってしまったら、自分を追い詰めず、許してあげてください。同じように、自分以外の人間違ってしまったら、許してあげてください。『自分にやさしく、人にもやさしく』。皆さんが豊かな人生を歩んでいくことを願っています。ずっと応援しています。」

3月26日、久しぶりに1, 2年生全員が体育館に集まり、テレビ放送ではなく、対面による修了式を行います。マスクを外すことはできませんが、まずは一歩前進です。

今年度、本校に関わってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

1年間ありがとうございました。

副校長 石平 正典

今年度は「新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑みて」ということが常に離れない1年となりました。教職員で知恵を出し合うとともに、PTAの皆様のご協力等により、手指消毒用のアルコールや換気の目安を示すCO₂メーターの導入など、より効果的な対策を講じながら学校運営をして参りました。

世間では「コロナ疲れ」や「コロナ慣れ」という言葉が聞かれますが、生徒たちからは疲れや慣れを感じることはなく、日々気を付けながら活動的に過ごしてくれています。ともすると、今年度は子どもたちを支える大人たちの姿勢について、考えさせられる1年になったとも言えると思います。

本日は1年の締めくくりの日ではありますが、学校では4月からの新たなスタートに向けて準備を進めています。どのような社会情勢になろうとも、目の前の生徒が充実した中学校生活を送れるように、全力でサポートしていきたいと思っています。

これからも若葉台中学校の学校運営にお力添えいただければと存じます。1年間本当にありがとうございました。

第14回卒業証書授与式

令和に入り2度目となる横浜市立若葉台中学校の卒業証書授与式が3月11日に行われ、70名の生徒たちが巣立っていきました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓の方の臨席を見送らせていただき、保護者も1名のみの参列、在校生は生徒会の代表者のみの参加となり、様々な制約を設ける中で行われました。

思い起こせば1年前。時の政権により全国一斉の臨時休業となり、卒業期のさまざまな思い出づくりや振り返りができずに卒業式を迎えました。参列者は教職員のみということで、いささかこじんまりとしたものになりましたが、教職員一同心を込めて準備をし、卒業生を送り出ささせていただきました。

あれから早1年。今年の3年生は多くの行事が中止または縮小となりました。校外学習の集大成ともいえる修学旅行にも行けず、また、進路への不安の大きい中、様々な思いで中学校生活最後の1年間を過ごしてきたのだと思います。実際には、4、5月は臨時休業で授業は6月の分散登校から再開し、夏休みも大幅短縮となるなど、考える間もなく、まさに駆け抜けた1年だったのかも知れません。

卒業式は、全員マスクを着用し適正な距離を保ちながら、厳粛な雰囲気の中行われました。卒業証書授与の時だけ壇上でマスクを外し、全員がその素顔を見せてくれました。私たち教職員も久しぶりに見る素顔でした。凜として前を見据える姿からは、これからの自らの進路への決意が伺えました。

式終盤の生徒会長の答辞では、一つひとつ紡がれる等身大の言葉に卒業生たちは目に涙を浮かべていました。特に、学年全員への熱のこもったメッセージには参列者全員が胸を撃たれました。最後の合唱では卒業生全員の気持ちが一つとなり、様々な思いを胸に最後まで一生懸命歌い切って式は幕を閉じました。



義務教育の課程を修めた証です



涙と笑顔が入り混じって会場を後にしました



最後の学活。生徒からのサプライズも



ご卒業おめでとうございます！

令和二年度学校評価

来年度に向けて、職員の反省・保護者の評価・子どもたちの評価をアンケート形式で行い、それぞれの分析や課題、今後の取組についてまとめました。色々な角度から評価や反省をいただきありがとうございました。また、中期学校経営方針(3年間の計画)が令和元年度に策定されました。今年度の反省や評価と照らし合わせながら、来年度以降も若葉台中学校の教育課程を実践していきます。引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

学校運営全般

新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まっの連絡・連携を図ることが制限されました。そのような中でも情報公開・発信を通して、一定の理解を得ながら教育活動を展開できたのではないかと思います。来年度は新学習指導要領導入となります。また、GIGAスクール構想により、端末を使用しての学習活動を取り入れてまいります。引き続き保護者・地域の方々に理解してもらえるように情報発信していきます。

学校生活について

いろいろと制限が余儀なくされている中にありながら、生活面におけるポイントは前年度よりも高いものとなっています。多くの生徒が規律を守り、思いやりをもって互いを尊重しながら学校生活を送っているのではないかと思います。今年度実践できませんでした。次年度はこれまでのように、地域の方々の協力を得ながら地域社会での経験の場も増やしていきます。

学習面について

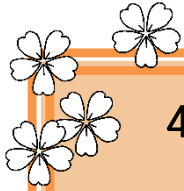
臨時休業時も各教科で学力定着のための課題を最適化し、保護者の協力も得ながら、家庭学習へ取り組む習慣作りを推進してきました。各授業においても、単元ごとの振り返りを充実させ、生徒たちの「わかる」「できる」を増やししながら、確かな学力向上を図っています。

行事等諸活動について

今年度は感染症拡大防止の観点から、多くの学校行事が見直され最小限での活動のものがありました。生徒たちの自主性や達成感、自己肯定感を高める大切な機会が大幅に減少しました。そのような中でも、実現可能な方法を生徒と共に知恵を出し合い、模索し工夫して実行できたことは大きな実りとなりました。

生徒理解について

教職員が熱心に取り組んでいると多くの方が感じていただいております。より一層、教育相談体制を充実させ保護者との連携を図りながら、生徒の心に寄り添い成長を見守る姿勢を大切にしていきます。



4月の主な予定

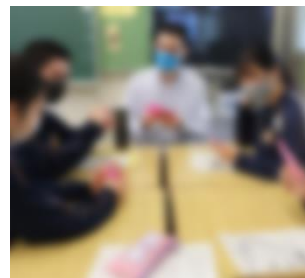
- 4月7日（水）着任式、始業式、入学式
- 8日（木）離任式、対面式、身体計測
- 9日（金）学級写真、新入生オリエンテーション
- 12日（月）部活動オリエンテーション
- 12日（月）～15日（木）教育相談（生徒のみ）
- 16日（金）授業参観・学校説明会・学級懇談会
校外学習説明会・部活動説明会
- 19日（月）生徒会委員会①
- 20日（火）生徒会委員会②
- 21日（水）中央委員会、内科検診（2年生、個別級）
- 23日（金）3年市学力学習状況調査
- 27日（火）1，2年市学力学習状況調査
- 27日（火）～29日（木）3年 修学旅行（沖縄方面）



SEPRO（セプロ）

2年生において、3月17日に行われました。

SEPRO（Super English Program）は、横浜市英語教育事業の一環であり、生徒が外国人講師とたくさん話せる機会をもつためのプログラムです。区内から6名のAETが集まり、ゲームなどを取り入れた様々な活動を通して楽しい時間を過ごしました。初対面の方に対して、英語で積極的にコミュニケーションをとる姿に感心いたしました。国際社会に向けて、大きく力を伸ばして行って欲しいです。



学校のメール配信の更新について

現在本校では、学校の配信メールは「まちコミ」メールを使用しています。現1年生、2年生の年度更新は、4月に学校の方で行います。そのまま継続してお使いくださいますようお願い申し上げます。

登録をされていない方は、4月にご案内をいたしますのでご登録ください。